

大学等名：大阪府立大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

- 授業外の能動的な学修を促進するために、ICT技術を用いた反転学習を中心としたアクティブ・ラーニングを導入し、システム構築、コンテンツの作成・蓄積とハードウェアの整備を行いながら全学への展開を目指す。
- アクティブ・ラーニング科目の学修成果を可視化するため、学修行動調査や学生ポートフォリオの連携を推進し、さらにルーブリック評価を取り入れた成績評価方法の開発により、評価指標としてのGPAの実質化を図る。

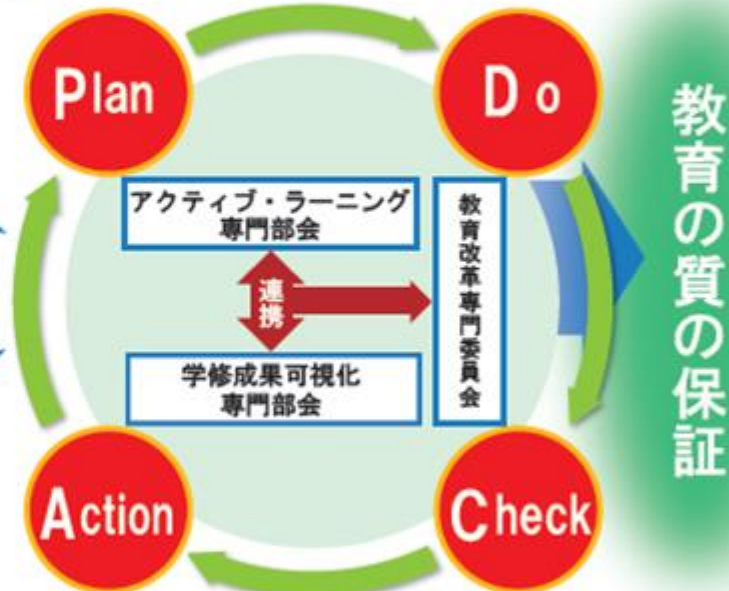
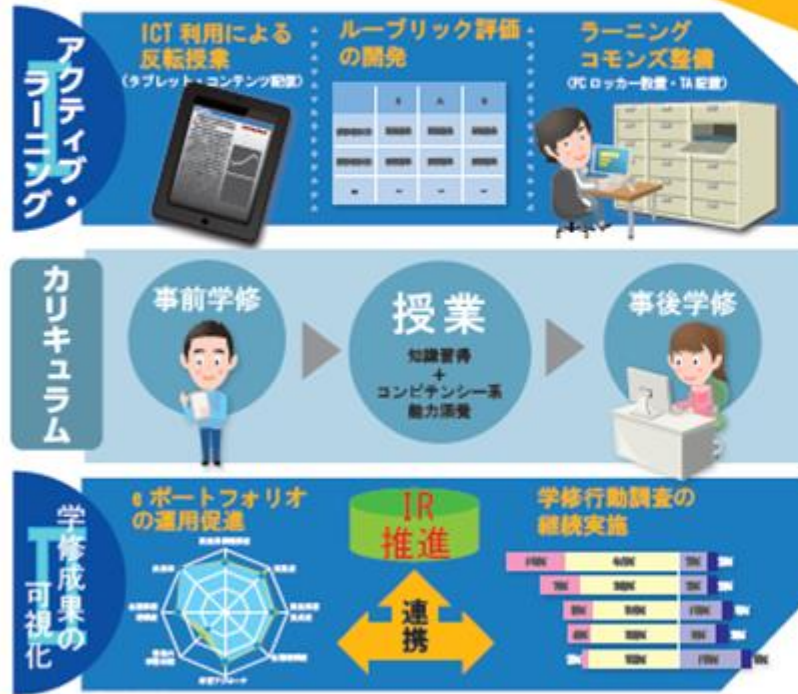
これまでの  
FD・IRの取り組み

- 「必修科目」「初年次ゼミナール」(アクティブ・ラーニング)の導入
- 「学修行動調査」の実施 etc.

見えてきた  
課題

- 学生の授業時間外学修が微増にとどまる！
- GPAが知識習得以外の学修成果と連関しない！

改善  
(AP)



事業の成果	H26年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合	100%	100%	100%
アクティブ・ラーニング科目に関する授業外学修時間	4.9時間	8時間	4.6時間



●ICT技術を用いた反転学習を中心としたアクティブ・ラーニング科目の導入と、これらの科目における学修成果の可視化を行うことにより、学生の教育の質の保証を柱とした学士課程教育改革が加速される。

●本事業におけるアクティブ・ラーニングの拡大と学修成果の可視化の推進により、FD・SDを柱とした大学改革が更に促進される。